

■郊外住宅地でのゆとりある木造オフィスの整備

駅に近い郊外住宅地でのオフィス整備による職場環境の向上、完全木造建築による約 100 トンの低炭素化、また、ゆとりある空間で創造される快適な執務環境やネイチャーポジティブを指向した緑地再生、周辺地域・学校など地域との連携や貢献を目指したオフィスです。

1. 立地優位性を生かしたゆとりあるオフィス

- ▶駅近の郊外住宅地でのオフィス整備による職住接近やサテライトオフィス機能
- ▶完全内外木質化構造による職場環境のリラックス効果や健康効果
- ▶外部空間の緑化などによる自然創造と周辺自然との生態ネットワーク構築

▼新たな自然再生への緑化全景



▼緑の空間によるグリーンカーテン



2. 快適性・機能性から新たな価値が創出されるオフィス

- ▶執務空間に個人執務エリアとフレキシブルな会議スペースを備え、社員交流やアイデア創出を促進し、組織力向上につながるオフィス
- ▶作業ステップ段階に応じた執務室やオープンスペースの設置で作業効率を向上したオフィス

3. エコと地域社会への貢献につながるオフィス

- ▶完全木造建築による約 100 トンの低炭素化と地元産材利用による森林再生
- ▶自然風を活かした窓構造などの空調整備
- ▶自然再生による生物多様性の創造や周辺生態ネットワーク構築、絶滅危惧種種の敷地内保護
- ▶地域・学校との自然環境ネットワーク構築と生態系学習活動
- ▶地域と連携した近隣学研都市内の絶滅危惧種保全、外来種駆除活動

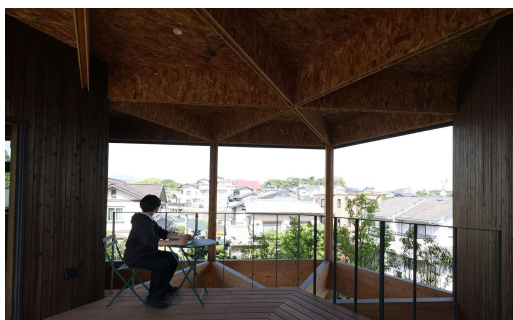
▼フレキシブルな木質執務空間



4. 長寿命化への維持管理とセキュリティ

- ▶木造建築物ならではの維持保全計画と計画・点検・診断・補修など PDCA による効率的・経済的な長寿命化計画の策定
- ▶都市洪水抑制への雨水貯留池整備や透水舗装によるグリーンインフラ機能を確保

▼2階ピロティからのオープン空間



▼風が執務に影響しない執務室の窓構造

